

安全文化講演会を開催しました

当社は、「安全性向上への取り組みに終わりはない」という意識の下、安全を第一義に事業を進めていくことを経営の方針（「品質方針」）として定めています。

安全が最優先であるとの意識は、日々の積み重ねを通じて育成されるもので、当社の社風として、また、携わる人の気風として定着していくことが必要です。

こうした取り組みは安全文化の育成・醸成と言われていますが、当社が事業を進めていく上で、重要な活動の一つです。

この活動の一環として、当社は先ごろ、社外から講師を招き、当社・関係会社を対象とした「安全文化醸成活動」に関する講演会を開催しました。この講演会は今回で4回目の開催となり、約80名が参加しました。安全が何よりも優先すること、業務は安全文化を基本として行うことなどを学び、安全意識の向上への思いを新たにしました。

当社は、「リサイクル燃料備蓄センター」の事業開始に向けて、今後とも、安全性向上への継続的な取り組みを進めていきます。



安全文化講演会の様子（1月31日）